



盧溝橋事件七十周年・不再戦平和を訴える

七月七日は盧溝橋事件七十年の記念日です。前日の六日午後五時から、大阪府連の六名が淀屋橋で、毎年恒例の宣伝を行いました。

ビラを市民に配りながら、

「盧溝橋事件を中心に、最近の侵略戦争を正当化する一部の動きを批判しながら、日本十五年戦争から学ぶべき歴史の教訓と憲法・平和をめぐる最近の情勢、不再戦・平和と日中友好など」を訴えました。

仕事帰りの労働者や若い人達もよくビラを受け取つてくれました。また、ある婦人は立ち止まってビラを熱心に読みました。おられました。

渡辺武府連会長がマイクで卢溝橋事件を中心とした最近の侵略戦争を正当化する一部の動きを批判しながら、日本十五年戦争から学ぶべき歴史の教訓と憲法・平和をめぐる最近の情勢、不再戦・平和と日中友好などを訴えました。

今年の特別テーマは過去に日本が犯した侵略戦争を学び、歴史の教訓から、二度とこのようないことを繰り返さないという思いを込めて「日中十五年戦争」にしました。当時の写真・資料のパネルや戦時品なども展示されますのでぜひ多くの方がご来場くださいますようにお願い申します。

渡辺武府連会長がマイクで卢溝橋事件を中心とした最近の侵略戦争を正当化する一部の動きを批判しながら、日本十五年戦争から学ぶべき歴史の教訓と憲法・平和をめぐる最近の情勢、不再戦・平和と日中友好などを訴えました。

今年の特別テーマは過去に

今年は、日本が中国全土へ侵略戦争を拡大した盧溝橋事件七十周年、そして南京事件七十周年にあたります。今、平和と民主主義、アジア諸国民との平和・友好にたいする攻撃がかってなく強まっている情勢の中、和平のための戦争展が開催される意義は重要なっています。

今年の、特別テーマは過去に日本が犯した侵略戦争を学び、歴史の教訓から、二度とこのようないことを繰り返さないという思いを込めて「日中十五年戦争」にしました。当時の写真・資料のパネルや戦時品なども展示されますのでぜひ多くの方がご来場くださいますようにお願い申します。

渡辺武府連会長がマイクで卢溝橋事件を中心とした最近の侵略戦争を正当化する一部の動きを批判しながら、日本十五年戦争から学ぶべき歴史の教訓と憲法・平和をめぐる最近の情勢、不再戦・平和と日中友好などを訴えました。

今年の特別テーマは過去に

門真支部も七・七のビラを平和行進で配布しました。

戦争展今年も開催します

「2007平和のための戦争展」は八月二十日～二十三日の期間、日中文化センターで開催されます。

今年は、日本が中国全土へ侵略戦争を拡大した盧溝橋事件七十周年、そして南京事件七十周年にあたります。今、平和と民主主義、アジア諸国民との平和・友好にたいする攻撃がかってなく強まっている情勢の中、和平のための戦争展が開催される意義は重要なっています。

今年の特別テーマは過去に日本が犯した侵略戦争を学び、歴史の教訓から、二度とこのようないことを繰り返さないという思いを込めて「日中十五年戦争」にしました。当時の写真・資料のパネルや戦時品なども展示されますのでぜひ多くの方がご来場くださいますようにお願い申します。

今年は、日本が中国全土へ侵略

日中友好新聞

府連通信

2007年7月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区

茶屋町10-6
阪急北ビル4階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfa@j
t8.so-net.ne.jp
ホームページ
[http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/](http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/)

安曇野できりえ交流会 わさび園やちひろ美術館へ

は、東京の千賀雅子さんが「作品に結実するまで」と兵庫の宗田瑛子さんが「きりえ作りの楽しさ、普及活動と今後の方針を話されました。

夕食後は「第三回全国きりえコンクール」のスライドを写しながら、話し合いました。

二日目は、安曇野のわさび園をスケッチ、三日目は「ちひろ美術館」を見学し、再会を約してお昼に解散しました。



談話（一九九五年八月十五日）
をここに再確認しておきたい

と思います。

「わが国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人びとに

対して多大の損害と苦痛を与えた。私は、未来に過ち

無からしめんとするが故に、

改憲手続法定定、防衛庁の防衛省への昇格などをつぎつぎ

強行し、また、従軍慰安婦の実を謙虚に受け止め、ここに

疑うべくもないこの歴史の事実を謙虚に受け止め、ここに

対して多大の損害と苦痛を与えた。私は、未来に過ち

無からしめんとするが故に、

改憲手続法定定、防衛庁の防

衛省への昇格などをつぎつぎ

強行し、また、従軍慰安婦の実を謙虚に受け止め、ここに

疑うべくもないこの歴史の事

実を謙虚に受け止め、ここに

対して多大の損害と苦痛を与えた。私は、未来に過ち

無からしめんとするが故に、

改憲手続法定定、防衛庁の防

衛省への昇格などをつぎつぎ

強行し、また、従軍慰安婦の実を謙虚に受け止め、ここに

疑うべくもないこの

